



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

秋田県 大仙市立南外中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：宇山賢先生（フェンシング）【出場オリンピック／東京2020大会】

■期 日：2024年5月24日（金）

■クラス：2年A組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・東京2020大会のフェンシング競技に出場したと自己紹介。実際に使用していた剣を披露し、剣の素材は金属でできており、剣先にバネが付いていることで相手の剣を叩いたり押さえることができる。相手より先に剣先を体に当て点数を競う。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間はルールを守り仲間と協力してほしい。フェンシング競技は、相手の動きをよく見て瞬時に自分の動きを判断する競技だと話し、自身の言葉と動きを真似る準備運動を実施。

○主運動等



・主運動はトライリレーを実施(全3回)。各班3つの種目(以下①②③)をバスケットボールを使用しタイムを競う。①後ろ向きで1列に並び頭上からボールを送りながら折り返し地点まで進む。②再度後ろ向きに1列に並び股下からボールを送りスタート位置に戻る。③1人ずつドリブル走で1往復する。3回目は①と②のルールを変更、①後ろ向きに並びボールを頭上と股下の交互から送る。②前向きに並び股下からボールを後ろから前に送る。途中作戦タイムを設け、タイムを縮めるために話し合う。



・運動の時間を振り返り、ルールを理解し仲間と協力しながら取り組むことができた。特にボールを送る際は、並び方や声掛けを工夫しながら1回目より2回目、2回目より3回目と効率よく動くことができた。皆の行動は全てオリンピックバリューに当てはまる。座学の時間は、自身の競技生活で感じたオリンピックバリューについて話し、皆がこれからの学校生活の中でオリンピックバリューをどのように生かせるかを考える時間にしたいと話し、授業終了。

■オリンピック：宇山賢先生（フェンシング）【出場オリンピック／東京2020大会】

■期 日：2024年5月24日（金）

■ク ラ ス：2年A組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・スライドを使用し自己紹介と競技紹介をする。フェンシング競技はエペ、フルーレ、サーブルの3種目があり、剣の種類や有効面が異なる。近代オリンピックの創始者であるピエール・ド・クーベルタンについて、スポーツを通じて世界の平和を願い、よりよい社会を目指してオリンピックを開催したと説明。東京2020大会での金メダルは、自身の努力だけではなく、周りの人々の応援があり、競い合う仲間がいたからこそ獲得できた。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：オリンピックバリューに当てはまる学校行事を挙げ、それに向かって今日から取り組めることを考えてみよう。

発表：学校行事：「夏・秋・冬の陣」「親子レクリエーション」「Let's Run」「球技大会」「南中祭」「合唱祭」「修学旅行」「運動会」等

エクセレンス：「全力で取り組む」「ベストを尽くす」等

フレンドシップ：「お互いを応援し合う」「仲間を理解する」等

リスペクト：「ゴミを拾う」「羽根共同募金に協力する」「地域への感謝」「人の欠点を認める」等



・運動と座学の時間を通して、オリンピックはメダルを獲得することだけが目的ではなく、オリンピックバリューをはじめ、多くのメッセージがあることを理解してもらえたと思う。夢や目標を見つけ、それを達成するために何をすべきかを考え、様々なことに挑戦してほしい。今年パリ2024大会が開催される。テレビ等で見る機会があれば、オリンピックバリューを思い出しながら頑張る選手連を応援してほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年A組



■記念品贈呈

・2年A組



■修了証贈呈

